

(1) 積が大きくなる順にならべましょう。

㉞  $\frac{7}{9} \times 1$

㉟  $\frac{7}{9} \times \frac{2}{3}$

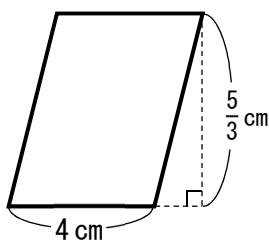
㊱  $\frac{7}{9} \times \frac{4}{3}$

㊲  $\frac{7}{9} \times \frac{2}{10}$

答え \_\_\_\_\_

(2) 次の図形の面積や体積求めましょう。

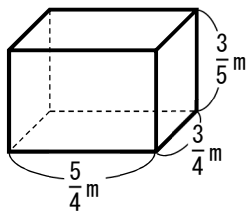
① 平行四辺形



(式)

答え \_\_\_\_\_

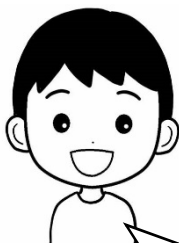
② 直方体



(式)

答え \_\_\_\_\_

(3) 隼人さんは、分数に分数をかける計算の積が、「分母どうし、分子どうしをかければ求められる」ことを説明しています。あてはまる数や言葉を入れましょう。



かける数を□倍すると  
積も□倍になるから後で  
□で割ると考えると…

$$\begin{aligned} \frac{6}{5} \times \frac{2}{7} &= \frac{6}{5} \times \left( \frac{2}{7} \times 7 \right) \div \square \\ &= \frac{6}{5} \times 2 \div \square \\ &= \frac{6 \times 2}{5 \times 7} \\ &= \square \end{aligned}$$

